

# 新屋鹿嶋祭保存会 調査研究部 部会

H26-2-9 広報-6 (ウェスター3F洋5号)

## 協議確認事項 (全部会 11名中8名の出席)

1. 現在保存会でペンディング中のデモ用鹿嶋船の制作と展示場所等についての当部会の対応について。
  - 1) 部会としても船の制作については、保存会の発足の意義を確認するうえで、大きな意味があり全面的に賛同するものであるが、製作する船のベースモデルは、全体会議にて承認確定となってから部会としてサポートすべき面を再協議して対応する。
  - 2) 設計・製作者の人選は、保存会全体で対応すべきであるし、その製作費用も、相応に必要と思われるが、あまりアンチョコなもののイメージダウンだけは避けたい。佐倉市に展示されているものを参考に、現「ねぶり流し館」に展示されているものを超えるようなものを心がけたい。
  - 3) 展示場所については、市民サービスセンター・日吉神社境内・旧新政跡地などが検討されているようだが、サービスセンターではスペースの問題等で制約があり、西部地域全体の活動拠点の中に新屋地区だけのスペースを要請するのは難しいのではないかと思われる。日吉神社で保管の建物込みにした場合は、費用が掛かり過ぎる心配がある。  
現在市が検討している町おこしの拠点として検討中の「新政跡地」に建てられる予定の箱物の一部を借用する方策が最適と考える。
2. 当部会が引き続き調査研究に取り組むテーマについて。
  - 1) 秋田(百段)に伝わる土着神(道祖神)と鹿嶋さんの関連
  - 2) 子供たちの息災祈願と鹿嶋祭のつながり
  - 3) 土着神(藁人形)が、武者人形(紙人形)となった経緯
  - 4) 笹巻・かしわ餅と鹿嶋さんのつながり
3. その他
  - 1) 当面以上の活動を踏まえ「鹿嶋祭」のルーツについて、史実に基づき時系列に体系化したものを作成し、保存会の共通認識とすべき資料の作成を心がける。
  - 2) 子供たちの息災を町を挙げて祈るといって誇るべく伝統行事を、今少し対外的にもアピールし、町おこしの活性化につなげたい。
  - 3) 長期的活動の指針としては、郷土新屋の誇るべく伝統行事「鹿嶋祭」を、秋田市の無形文化財としての登録を目指すための活動。

以上